

令和7年度事業報告書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

令和7年度においても事業計画に基づき、医学部及び附属病院における便宜供与に関する事業を行うとともに、教育研究及び診療活動に対する奨励助成並びに運営助成を行い、患者等の利便と医学の振興に寄与するとしている本会の目的を達成するための事業を行ってまいりました。

また、一般財団法人へ移行後に、移行法人の義務である公益目的出計画に基づき支出してきた公益目的財産額が当該事業年度をもって零になり、公益目的支出計画の実施が計画上の見込みより早く完了いたしました。これに伴い、監督官庁である山形県に公益目的支出計画実施完了確認請求の手続きを行ってまいります。

〔事業の概要〕

1. 患者等への必需品の販売等の便宜供与に関する事業

本会がこれまで培ってきた病院に設置された財団としての特性を活かし、利用される皆様の多様なニーズに応えられるよう、職員のスキルアップ等も図りながら下記の事業を行いました。

・コンビニエンスストアの経営

良質な商品の提供と魅力ある品揃えに努め、更なるサービスの向上と安定的な運営を図るとともに利用される皆様の利便性の向上に努めた。

・ベッドサイドシステム（テレビ、冷蔵庫、床頭台）の管理運営

各病室のベッドサイドシステムの維持管理を行い、入院患者の利便性の向上に努めた。

・自動販売機、公衆電話の管理運営

機器の維持管理を行うとともに、要望に応じて自動販売機の商品を見直すなど利用される皆様の利便性の向上に努めた。

また、「公益財団法人日母おぎゃー献金基金」、「JCCG（日本小児がん研究グループ）」及び「特定非営利活動法人パンキャンジャパンのすい臓がん撲滅基金」に当該基金協力企業を通じて自動販売機の売上の一部が寄附された。

・コインランドリーの管理運営

清掃の徹底を図りながら衛生面の維持管理を行い、利用される皆様の利便性の向上に努めた。

・医学部構内駐車場パスカード発行業務

教職員等へのパスカード発行業務を行った。

2. 教育研究及び診療活動に対する奨励助成並びに運営助成

医学部及び附属病院の取り組みを支援するため下記の事業を行いました。

継続事業1：教育研究に対する奨励助成事業

- ・病院教育研究経費の助成

専門領域の学術研究及び研修の支援、会議の開催・出席等のために必要な経費の助成を行った。

- ・医学部教育研究経費の助成

講演会、医療サービスのスキルアップの講演会、患者に対する疾病の原因と予防又は治療方法に関する公開講座の開催等に必要な経費の助成を行った。

- ・国際交流経費の助成

学術交流協定を締結している機関との交流事業、医療水準の向上を目的とした姉妹校からの研究者及び研修医の受け入れに伴う必要な経費の助成を行った。

継続事業2：診療活動に対する奨励助成事業

- ・看護業務支援経費の助成

看護業務に従事する職員のスキルアップ、研修、会議参加、会議開催等に必要な経費の助成を行った。

- ・患者支援経費の助成

外来患者及び入院患者に対して早期の健康回復を願い、季節ごとの行事に必要な経費の助成を行った。また、病院2階待合ホール設置のテレビ更新に伴う経費の助成を行った。

継続事業3：医学部・附属病院に対する運営助成事業

- ・医学部及び附属病院運営経費の助成

小さな子供を有する教職員等が安心して働けるような環境づくりに寄与するための環境改善活動に対し助成を行った。

- ・山形大学しらゆき会運営経費の助成

しらゆき会の事業活動が機能するよう運営に必要な経費の助成を行った。